

教科	地理歴史	科目	世界史A	単位数	2	学年・コース	1年 総合・体育
教科書	『詳説 世界史B』山川出版社 『最新世界史図説』タペストリー 帝国書院			担当者	森田 大介 ・ 村田 克則 ・ 渡部 翔太		
概要・ねらい	世界史の大きな流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解させる。範囲としては現代を中心に学び、文化の多様性と現代社会の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会で主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	10	第13章 帝国主義とアジアの民族運動 1 帝国主義と列強の展開 2 世界分割と列強対立	●帝国主義の特質と、帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を理解する。 ●帝国主義時代の欧米列強による世界各地の分割や植民地化をめぐる競合と、従属させられた地域社会の抵抗と変容を理解する。  《1学期中間考査》			
		10	第14章 二つの世界大戦 1 第一次世界大戦とロシア革命 ・バルカン半島の危機 ・第一次世界大戦の勃発 ・ロシア革命 ・ソヴィエト政権と戦時共産主義 ・ネップとソ連の成立	●第一次世界大戦の勃発とその影響、ロシア革命の発生とその影響について理解しているか。  《1学期期末考査》			
	二学期	13	第14章 二つの世界大戦 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ・国際協調と軍縮の進展 ・西欧諸国の停滞 ・イタリアのファシズム・東欧・バルカン諸国の動揺 ・ソ連の社会主義建設とアメリカ合衆国の繁栄	●ヨーロッパ及びアメリカ合衆国に第一次世界大戦が与えた影響について理解しているか。  《2学期中間考査》			
		13	3 アジア・アフリカ地域の民族運動 ・第一次世界大戦と東アジア ・日本の動きと東アジアの民族運動 ・国民党と共産党 4 世界恐慌とファシズム諸国の侵略 ・世界恐慌とその影響 ・ニューディール政策とブロック経済 ・ナチスドイツとヴェルサイユ体制の崩壊 ・ソ連の五カ年計画とスターリン体制	●アジア地域における第一次世界大戦が与えた影響について理解しているか。 ●世界恐慌と資本主義の変容と第二次世界大戦に突入する流れを理解しているか。  《2学期期末考査》			
三学期	12	5 第二次世界大戦 ・ナチスドイツの侵略と開戦 ・ヨーロッパ戦争 ・独ソ戦と太平洋戦争 ・ファシズム諸国の敗北	●第二次世界大戦の大きな流れを理解し、当時の国際社会の動きを考察させる。  《学年末考査》				
履修上の注意							
評価の観点							
●課題、宿題などにしっかり取り組むこと				●配布されたプリントを保管すること		●欠席、遅刻をしないこと	
※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとするか。	世界の歴史から課題を見出し、文化の多様性と現代世界の特質を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断できるか。	世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追求する方法を身につけるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現できるか。	世界の歴史についての基本的な事柄を、我が国の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけているか。			
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢	●定期テスト ●小テスト ●課題等の提出状況			

教科	地理歴史	科目	日本史	単位数	2	学年・コース	1年 総合・体育
教科書	『詳説 日本史B』山川出版 『新詳 日本史図説』浜島書店			担当者	成澤 可奈子・金田 浩明・時任 竜也		
概要・ねらい	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察し、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	10	第9章 近代国家の成立 1 開国と幕末の動乱 2 明治維新と富国強兵 3 立憲国家の成立と日清戦争	●新政府の制度改革に着目して、明治政府が中央集権体制を構築していく過程を考察できたか。 ●明治初期の対外政策について、欧米諸国とアジア諸国への対応の差異を捉えられたか。 ●自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察できたか。  《1学期中間考査》			
		10	第9章 近代国家の成立 4 日露戦争と国際関係 5 近代産業の発展 6 近代文化の発達	●日露戦争の経緯・経過とそれに伴う日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進を把握できたか。 ●日清日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を捉えられたか。 ●国民が主体的に創造した近代文化の特色を考察できたか。  《1学期期末考査》			
	二学期	13	第10章 二つの世界大戦とアジア 1 第一次世界大戦と日本 2 ワシントン体制 3 市民生活の変容と大衆文化	●第一次世界大戦前後の政治の動向を、政党内閣の成立や欧米・アジア諸国との関係を踏まえて考察できたか。 ●ワシントン体制に至る過程を、国際環境の変化の中で日本の立場に着目しながら捉えられたか。 ●大衆文化の成立を、その背景となる社会風潮に着目しながら考察できたか。  《2学期中間考査》			
		13	第10章 二つの世界大戦とアジア 4 恐慌の時代 5 軍部の台頭 6 第二次世界大戦	●戦後恐慌から昭和恐慌に至る過程を、国内外の経済状況を踏まえて理解できたか。 ●対外政策および国際社会での立場の変化を踏まえ、日本が戦争に突入していった経緯を考察することができたか。  《2学期期末考査》			
三学期	12	第11章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講話 第12章 高度成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度成長へ	●第二次世界大戦終結以降の日本の動向を把握できたか。 ●戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化について理解することができたか。  《学年末考査》				
履修上の注意							
●板書をしっかり写すこと ●配布されたプリントを保管すること ●課題、宿題などにしっかり取り組むこと ●欠席、遅刻をしないこと ※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点の趣旨	わが国の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。	日本の歴史から課題を見出し、文化の多様性と現代世界の特質を日本史的視野にたつて多面的・多角的に考察するとともに国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	日本の歴史についての諸資料を収集し、興味ある情報を選択して活用することを通して歴史的な事柄を追求する方法を身につけるとともに、追求し考察し過程や結果を適切に表現する。	日本の歴史についての基本的な事柄を、東アジアやヨーロッパの歴史と比較しながら、どのように展開していくか追求し考え理解されているか判断する。			
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢	●定期テスト ●小テスト ●課題等の提出状況			

教科	地理歴史	科目	世界史A	単位数	2	学年・コース	1年 アカデミック
教科書	『詳説 世界史B』山川出版社 『最新世界史図説』タベストーリー 帝国書院			担当者	齋藤 翔太		
概要・ねらい	世界史の大きな流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解させる。範囲としては現代を中心に学び、文化の多様性と現代社会の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会で主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	10	第1章 オリент世界と地中海世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>●メソポタミア文明やエジプト文明など古代文明を学ぶことで、世界史への興味・関心を高める。</li> <li>●エーゲ文明やフェニキア人により、オリент文明がギリシアに影響を与え、地中海世界が形成されたことを把握する</li> <li>●都市国家ローマが地中海帝国を形成し、その文化が大きな影響を与えたことを理解する</li> </ul> <p style="text-align: right;">≪1学期中間考査≫</p>			
		10	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>●西ヨーロッパ中世世界の成立過程を学び、現代の国々の原型が生まれ、また政治と宗教が密接に関わっていた事を理解することができるか。</li> <li>●西ヨーロッパにおいてどのようにして封建社会から中央集権化が促進されたかを理解することができるか。</li> </ul> <p style="text-align: right;">≪1学期期末考査≫</p>			
	二学期	13	第8章 近世ヨーロッパ世界の形成 第9章 近世ヨーロッパ世界の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大航海時代を学習することにより、日本も含めた全世界を考え、ルネサンスの資料を通して文化を理解することができるか。</li> <li>●絶対王政に至る各国の大きな流れを理解することができるか。</li> <li>●重商主義を展開する中で絶対王政が隆盛し、それに対する反抗も生まれたことを理解できるか。</li> <li>●世界の覇権争いとその形成過程を理解することができるか。</li> </ul> <p style="text-align: right;">≪2学期中間考査≫</p>			
		13	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>●資本主義を確立した産業革命を理解できるか。</li> <li>●世界初の民主主義国家がどのように生まれたのかを理解できるか。</li> <li>●アメリカ独立革命が契機となったフランス革命によってもたらされた影響を理解することができるか。</li> </ul> <p style="text-align: right;">≪2学期期末考査≫</p>			
三学期	12	第11章 欧米における近代国民国家の発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ウィーン体制の成立背景と近代国家の発展を理解できるか。</li> <li>●南北アメリカの発展と文化について理解することができたか。</li> </ul> <p style="text-align: right;">≪学年末考査≫</p>				
履修上の注意							
評価の観点		●配布されたプリントを保管すること					
●課題、宿題などにしっかり取り組むこと		●欠席、遅刻をしないこと		※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する			
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとするか。	世界の歴史から課題を見出し、文化の多様性と現代世界の特質を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断できるか。	世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追求する方法を身につけるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現できるか。	世界の歴史についての基本的な事柄を、我が国の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけているか。			
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢	●定期テスト ●小テスト ●課題等の提出状況			

教科	地理歴史	科目	日本史A	単位数	2	学年・コース	1年 アカデミック	
教科書	『詳説 日本史B』山川出版社 『新詳 日本史』浜島書店		担当者	萬田 依子				
概要・ねらい	わが国の歴史の始まりと展開を世界的視野にたち総合的に考えさせ、わが国の文化と伝統の特色についての認識を考え深めることにより歴史的な考えを養い、国際社会に生きる日本人としての資質を養い表現できることを育成する。							
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準				
	一学期	10	第1章 日本文化のあけぼの	●日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立を自然環境の変化や大陸との影響に着目してとらえることができたか。  《1学期中間考査》				
		10	第2章 律令国家の形成	●平城京における大宝律令・養老律令による律令体制の整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなども踏まえて考察できたか。  《1学期期末考査》				
	二学期	13	第3章 貴族政治と国風文化	●藤原北家が権力を掌握していく過程を理解し、律令体制の変容の観点から摂関政治を考察できたか。 ●国際関係の変化や遣唐使の中止などを踏まえ、浄土教の出現による浄土の信仰の変容、かな文学の成立による国文学の発達に着目して、貴族の生活・文化を理解できたか。  《2学期中間考査》				
		13	第4章 中世社会の成立	●延久の荘園整理令により荘園公領制が明確化されたことを踏まえて、院政の政治構造や経済・社会・文化を理解できたか。 ●外戚関係や日宋貿易の展開など平氏政権の特性を考察することを通して、武家政権の成立過程を把握できたか。  《2学期期末考査》				
	三学期	12	第5章 武士社会の成長	●鎌倉幕府の滅亡、建武政権の成立と崩壊を踏まえて南北朝の動乱を考察し、守護大名に着目して室町幕府の機構の確立について理解できたか。 ●日明貿易・日朝貿易の展開、琉球やアイヌの動向に着目できたか。  《学年末考査》				
	履修上の注意							
	●授業は板書したりプリント等を利用するので、必ずノートを用意してください。 ●課題の提出に関しては評価にも影響しますので、必ず提出するようにしてください。 ※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する							
評価の観点の趣旨と評価方法								
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解				
評価の観点	我が国の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。	日本の歴史から課題を見出し、文化の多様性と現代世界の特質を日本史的視野に立つて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	日本の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的な事象を追求する方法を身に付けるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現する。	日本の歴史についての基本的な事柄を、東アジア・ヨーロッパの歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。				
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出	●定期テスト ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出	●定期テスト ●授業への取り組む姿勢	●定期テスト ●課題等の提出				

教科	地理歴史	科目	世界史A	単位数	2	学年・コース	2年 総合・体育
教科書	『詳説 世界史B』山川出版社 『最新世界史図説』タペストリー 帝国書院			担当者	廣段 和也 ・ 坂巻 主税 ・ 村田 克則		
概要・ねらい	世界史の大きな流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解させる。範囲としては現代を中心に学び、文化の多様性と現代社会の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会で主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	10	第1章 オリентと地中海世界 1 古代オリент世界 2 ギリシア世界	●メソポタミア文明やエジプト文明など古代文明を学ぶことで、世界史への興味・関心を高められたか。 ●エーゲ文明やフェニキア人により、オリент文明がギリシアに影響を与え、地中海世界が形成されたことを把握できたか。  《1学期中間考査》			
		10	第1章 オリентと地中海世界 3 ローマ世界 第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 1 西ヨーロッパ世界の成立	●都市国家ローマが地中海帝国を形成し、その文化が大きな影響を与えたことを理解できたか。 ●西ヨーロッパ中世世界の成立過程を学び、現代の国々の原型が生まれ、また政治と宗教が密接に関わっていた事を理解することができるか。  《1学期期末考査》			
	二学期	13	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 2 東ヨーロッパ世界の成立 3 西ヨーロッパ中世世界の変容 4 西ヨーロッパの中世文化	●西ヨーロッパにおいてどのようにして封建社会から中央集権化が促進されたかを理解することができるか。 ●十字軍やレコンキスタ、東方植民などの対外的な活動が西ヨーロッパ世界に与えた影響を理解することができるか。  《2学期中間考査》			
		13	第8章 近世ヨーロッパ世界の形成	●大航海時代を学習することにより、日本も含めた全世界を考え、ルネサンスの資料を通して文化を理解することができるか。 ●宗教戦争から主権国家体制の成立について、各国の政治状況を比較しながら理解することができるか。  《2学期期末考査》			
三学期	12	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開	●重商主義を展開する中で絶対王政が隆盛し、それに対する反抗も生まれたことを理解できるか。 ●世界の覇権争いとその形成過程を理解することができるか。  《学年末考査》				
履修上の注意							
評価の観点		●配布されたプリントを保管すること ●欠席、遅刻をしないこと ※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する					
●課題、宿題などにしっかり取り組むこと							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとするか。	世界の歴史から課題を見出し、文化の多様性と現代世界の特質を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断できるか。	世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追求する方法を身につけるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現できるか。	世界の歴史についての基本的な事柄を、我が国の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけているか。			
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢	●定期テスト ●小テスト ●課題等の提出状況			

教科	地理歴史	科目	日本史A	単位数	2	学年・コース	2年 総合・体育	
教科書	『詳説 日本史B』山川出版社 『新詳 日本史』浜島書店		担当者	萬田 依子				
概要・ねらい	わが国の歴史の始まりと展開を世界的視野にたち総合的に考えさせ、わが国の文化と伝統の特色についての認識を考え深めることにより歴史的な考えを養い、国際社会に生きる日本人としての資質を養い表現できることを育成する。							
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準				
	一学期	10	第1章 日本文化のあけぼの	●日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立を自然環境の変化や大陸との影響に着目してとらえることができたか。  《1学期中間考査》				
		10	第2章 律令国家の形成	●平城京における大宝律令・養老律令による律令体制の整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなども踏まえて考察できたか。  《1学期期末考査》				
	二学期	13	第3章 貴族政治と国風文化	●藤原北家が権力を掌握していく過程を理解し、律令体制の変容の観点から摂関政治を考察できたか。 ●国際関係の変化や遣唐使の中止などを踏まえ、浄土教の出現による浄土の信仰の変容、かな文学の成立による国文学の発達に着目して、貴族の生活・文化を理解できたか。  《2学期中間考査》				
		13	第4章 中世社会の成立	●延久の荘園整理令により荘園公領制が明確化されたことを踏まえて、院政の政治構造や経済・社会・文化を理解できたか。 ●外戚関係や日宋貿易の展開など平氏政権の特性を考察することを通して、武家政権の成立過程を把握できたか。  《2学期期末考査》				
	三学期	12	第5章 武士社会の成長	●鎌倉幕府の滅亡、建武政権の成立と崩壊を踏まえて南北朝の動乱を考察し、守護大名に着目して室町幕府の機構の確立について理解できたか。 ●日明貿易・日朝貿易の展開、琉球やアイヌの動向に着目できたか。  《学年末考査》				
	履修上の注意							
	●授業は板書したりプリント等を利用するので、必ずノートを用意してください。 ●課題の提出に関しては評価にも影響しますので、必ず提出するようにしてください。 ※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する							
評価の観点の趣旨と評価方法								
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解				
評価の観点	我が国の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。	日本の歴史から課題を見出し、文化の多様性と現代世界の特質を日本史的視野に立つて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	日本の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的な事象を追求する方法を身に付けるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現する。	日本の歴史についての基本的な事柄を、東アジア・ヨーロッパの歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。				
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出	●定期テスト ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出	●定期テスト ●授業への取り組む姿勢	●定期テスト ●課題等の提出				

教科	地理歴史	科目	日本史B	単位数	4	学年・コース	2年 アカデミック文系
教科書	『詳説 日本史B』山川出版社 『新詳 日本史』浜島書店		担当者	成澤可奈子			
概要・ねらい	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察し、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	20	第2章 律令国家の形成 4 天平文化 5 平安王朝の形成 第3章 貴族政治と国風文化 1 摂関政治 2 国風文化 3 地方政治の展開と武士	●天平文化の特色を踏まえ、唐からの文化的影響、国家仏教の展開が理解されているか。 ●律令制度が大きくゆらぎ、土地制度の面では農民の成長がみられ、荘園・公領体制に切りかわり、政治の面では平安朝廷の形成過程が理解されているか。 ●国風文化の特徴および国風化の原因と影響を理解できているか。  《1学期中間考査》			
		20	第4章 中世社会の成立 1 院政と平氏の台頭 2 鎌倉幕府の成立 3 武士の社会 4 蒙古襲来と幕府の衰退 5 鎌倉文化	●荘園支配の動向や武士の成長、文化の面で武士や庶民の生活が反映され始めたことに着目して、古代社会の変化の中に中世社会の萌芽がみられたことを考察できたか。 ●武家・公家・寺社などが権力を分有する多様性や地域的な差異に基づいて、中世の国家や社会がどのようなものであるか考えたか。  《1学期期末考査》			
	二学期	26	第5章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 室町文化 4 戦国大名の登場	●鎌倉幕府と室町幕府の共通点と違いなどを理解しているか。 ●室町幕府が衰退していく展開と一揆の動きなどを理解しているか。 ●戦国大名の活動と支配のありかたが理解されているか。  《2学期中間考査》			
		26	第6章 幕藩体制の確立 1 織豊政権 2 桃山文化 3 幕藩体制の成立	●全国統一への過程が理解されているか。 ●桃山文化の特色である豪華さ、壮大さを具体例を基に把握できているか。 ●徳川家康が江戸幕府を開き、全国支配を実現した過程が捉えられたか。  《2学期期末考査》			
三学期	24	第6章 幕藩体制の確立 4 幕藩社会の構造 第7章 幕藩体制の展開 1 幕政の安定 2 経済の発展	●将軍と大名によって土地と人民が統治される支配機構を理解しているか。 ●日本国内において幕府や諸藩が政治の安定化を目指して様々な政策を取り、秩序の確立をはかったことを理解しているか。  《学年末考査》				
履修上の注意							
●板書をしっかり写すこと ●配布されたプリントを保管すること ●課題、宿題などにしっかり取り組むこと ●欠席、遅刻をしないこと ※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する							
評価の観点の趣旨と評価方法							
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点の趣旨	わが国の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め意欲的に追及し、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとしているか。	日本の歴史から課題を見出し、文化の多様性と現代社会の特質を日本史的視野に立つて多角的・多面的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断できるか。	日本の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追及する方法を身に付けるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現できるか。	日本の歴史についての基本的な事柄を、東アジアやヨーロッパの歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けたか。			
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢	●定期テスト ●課題等の提出			

教科	地理歴史		科目	世界史B	単位数	4	学年・コース	2年 アカデミック文系
教科書	『詳説 世界史B』山川出版社 『アカデミア世界史』浜島書店			担当者	萬田 依子			
概要・ねらい	中世ヨーロッパから近代ヨーロッパにおける世界史の大きな流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解させる。また、文化の多様性と現代社会の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会で主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。							
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準				
	一学期	20	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 1 西ヨーロッパ世界の成立 2 東ヨーロッパ世界の成立 3 西ヨーロッパ中世世界の変容 4 西ヨーロッパの中世文化	●フランク王国とローマ教皇の提携の意義、ノルマン人などの諸民族侵入の影響について、関心を持って学習しようとしている。 ●ビザンツ帝国の特色とスラヴ人など周辺民族の活動を意欲的に学習しようとしている。  《1学期中間考査》				
		20	第8章 近世ヨーロッパ世界の形成 1 ヨーロッパ世界の拡大 2 ルネサンス 3 宗教改革 4 ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成	●大航海時代を世界の一体化や資本主義経済発達の基盤と関連づけて考察し、文章にまとめる。 ●ルネサンスの意義やその具体的な文芸と美術に関する基本的な知識を身につけている。  《1学期期末考査》				
	二学期	26	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開 1 重商主義と啓蒙専制主義 2 ヨーロッパ諸国の海外進出 3 17～18世紀ヨーロッパの文化と社会	●イギリス革命やフランスを中心とした国家間の抗争、東ヨーロッパ諸国の台頭を、関心を持って学習しようとしている。 ●西ヨーロッパ諸国の経済活動と植民地争奪戦争の状況、その結果としてアメリカ・アフリカを巻き込んだ大西洋世界に近代分業システムが成立したことに関して、基本的な知識を身につけている。  《2学期中間考査》				
		26	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 1 産業革命 2 アメリカ独立革命 3 フランス革命とナポレオン	●産業革命の世界史的背景、技術革新や交通革命の進展と波及について、関心を持って学習しようとしている。 ●「独立宣言」の抜粋などの資料から、近代民主政治の基本原則に触れることができている。  《2学期期末考査》				
三学期	24	第11章 欧米における近代国民国家の発展 1 ウィーン体制の成立 2 ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生 3 南北アメリカの発展 4 19世紀欧米の文化	●ウィーン体制の特色とその崩壊過程、社会主義思想の成立と普及について、関心を持って学習しようとしている。 ●クリミア戦争とロシアの皇帝主導の近代的改革、ヴィクトリア時代のイギリスの繁栄、フランス第二帝政とその崩壊、イタリア・ドイツの統一とビスマルクによる協調外交といった、ヨーロッパ諸国の国民国家形成期の基本的な知識を身につけている。  《学年末考査》					
履修上の注意								
●板書をしっかり写すこと ●配布されたプリントを保管すること ●課題、宿題などにしっかり取り組むこと ●欠席、遅刻をしないこと ※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する								
評価の観点の趣旨と評価方法								
各観点	関心・意欲・態度		思考・判断		資料活用の技能・表現力		知識・理解	
評価の観点	世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとするか。		世界の歴史から課題を見出し、文化の多様性と現代世界の特質を世界史的視野に立つて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断できるか。		世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追求する方法を身につけるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現できるか。		世界の歴史についての基本的な事柄を、我が国の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけているか。	
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況		●定期テスト ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況		●定期テスト ●授業への取り組み姿勢		●定期テスト ●小テスト ●課題等の提出状況	

教科	地理歴史	科目	地理A	単位数	2	学年・コース	2年 アカデミック文系
教科書	『新詳地理B』帝国書院 『新詳地理資料COMPLETE2018』帝国書院 『新詳高等地図』帝国書院			担当者	萬田 依子		
概要・ねらい	地理の基本を学び、地図の読解や世界の地形、気候といった自然に関する見方を知り、環境に対する関心や愛情などを育成する。地誌的な分野では、世界各地域の特徴と問題点を学び、現代世界に生きる上での基本的な情報を学び、主体的に生きる力を養う。また、資料や写真を使い理解を深める。						
年間授業計画	学期	時間	学習内容	評価規準			
	一学期	10	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 4章 生活文化、民族・宗教	<ul style="list-style-type: none"> <li>●世界の衣食住について、地域的差異が生じていることに対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</li> <li>●民族と宗教について、民族とは何かを言語とのかかわりから、宗教とは何かを生活とのかかわりから、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</li> <li>●領域・国境やさまざまな国家に関するデータなどの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、現代世界の国家の特徴について読み取ることができる。</li> </ul> <p style="text-align: right;">《1学期中間考査》</p>			
		10	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 2章 現代世界の諸地域 7節 ヨーロッパ 8節 ロシア	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヨーロッパについて、ヨーロッパの各地域の自然・歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</li> <li>●ロシアについて、亜寒帯が広がる自然環境の地域にみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">《1学期期末考査》</p>			
	二学期	13	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 2章 現代世界の諸地域 9節 アングロアメリカ 10節 ラテンアメリカ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アングロアメリカについて、移民国家としてのアメリカ合衆国やカナダにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</li> <li>●ラテンアメリカについて、スペインやポルトガルの影響を強く受けた地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">《2学期中間考査》</p>			
		13	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 2章 現代世界の諸地域 11節 オセアニア  3章 現代世界と日本 2節 日本の抱える課題の追究	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オセアニアについて、自然環境や歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</li> <li>●日本が抱える地理的な諸課題について、関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">《2学期期末考査》</p>			
	三学期	12	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 2章 現代世界の諸地域 5節 西アジアと中央アジア 6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●西アジアと中央アジアについて、乾燥帯が広がる自然環境の地域にみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</li> <li>●北アフリカとサハラ以南のアフリカについて、中近東文化と中南アフリカ文化の地域にみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">《学年末考査》</p>			
履修上の注意							
<ul style="list-style-type: none"> <li>●授業は板書したりプリント等を利用します。</li> <li>●課題の提出に関しては評価にも影響しますので、必ず提出するようにしてください。</li> </ul> <p>※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する</p>							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点	教科書・プリントなどの準備を怠らず、授業に出席し、その参加に意欲的であるか。	様々な事象に対する問題点をよく知り、自分の意見を持って発言することができるか。	教科書や資料などを活用して、物事をとらえることができるか。	世界のどの場所で、自然や人間がどのように生き、どのような問題を抱えているかを理解することができるか。			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●授業への出席状況</li> <li>●授業への取り組む姿勢</li> <li>●課題等の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期テスト</li> <li>●授業への取り組む姿勢</li> <li>●課題等の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期テスト</li> <li>●授業への取り組む姿勢</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期テスト</li> <li>●課題等の提出</li> </ul>			

教科	地理歴史	科目	世界史B	単位数	4	学年・コース	3年 総合・体育
教科書	『詳説 世界史B』山川出版社 『最新世界史図説 タベストリー』帝国書院			担当者	廣段 和也・齋藤 翔太・村田 克則		
概要・ねらい	世界史の大きな流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解させる。また、文化の多様性と現代社会の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会で主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	20	第1章 オリентと地中海世界 1 古代オリент世界 2 ギリシア世界	●メソポタミア文明やエジプト文明など古代文明を学ぶことで、世界史への興味・関心を高められるか。 ●エーゲ文明やフェニキア人により、オリент文明がギリシアに影響を与え、地中海世界が形成されたことを把握できるか。  《1学期中間考査》			
		20	第1章 オリентと地中海世界 3 ローマ世界 第II部 第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展	●都市国家ローマが地中海帝国を形成し、その文化が大きな影響を与えたことを理解できるか。 ●西ヨーロッパ中世世界の成立過程を学び、現代の国々の原型が生まれ、また政治と宗教が密接に関わっていた事を理解することができるか。 ●西ヨーロッパにおいてどのようにして封建社会から中央集権化が促進されたかを理解することができるか。  《1学期期末考査》			
	二学期	26	第III部 第8章 近世ヨーロッパ世界の形成 第9章 近世ヨーロッパ世界の展開	●大航海時代を学習することにより、日本も含めた全世界を考え、ルネサンスの資料を通して文化を理解することができるか。 ●絶対王政に至る各国の大きな流れを理解することができるか。 ●重商主義を展開する中で絶対王政が隆盛し、それに対する反抗も生まれたことを理解できるか。 ●世界の覇権争いとその形成過程を理解することができるか。  《2学期中間考査》			
		26	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	●資本主義を確立した産業革命を理解できるか。 ●世界初の民主主義国家がどのように生まれたのかを理解できるか。 ●アメリカ独立革命が契機となったフランス革命によってもたらされた影響を理解することができるか。  《2学期期末考査》			
	三学期		3学期は授業を行いません。				
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>●板書をしっかり写すこと</li> <li>●課題、宿題などにしっかり取り組むこと</li> <li>●配布されたプリントを保管すること</li> <li>●欠席、遅刻をしないこと</li> </ul> ※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する						
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点	世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとするか。	世界の歴史から課題を見出し、文化の多様性と現代世界の特質を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断できるか。	世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追求する方法を身につけるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現できるか。	世界の歴史についての基本的な事柄を、我が国の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけているか。			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●授業への出席状況</li> <li>●授業への取り組み姿勢</li> <li>●課題等の提出状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期テスト</li> <li>●授業への取り組み姿勢</li> <li>●課題等の提出状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期テスト</li> <li>●授業への取り組み姿勢</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期テスト</li> <li>●小テスト</li> <li>●課題等の提出状況</li> </ul>			

教科	地理歴史	科目	日本史B	単位数	4	学年・コース	3年 総合・体育
教科書	『詳説 日本史B』山川出版 『新詳 日本史図説』浜島書店			担当者	岡田 新平・小針 大輝・時任 竜也		
概要・ねらい	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察し、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	20	第7章 幕藩体制の展開 1 幕政の安定 2 経済の発展  第8章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革  ※時代区分／旧国名の学習	●幕府や諸藩が政治の安定化を目指して様々な政策をとり、秩序の確立をはかったことを理解できたか。また、元禄時代で起きた財政問題、政治の諸問題について考察できたか。 ●当時の経済面について、農業・産業の進展、交通整備の発達、商業関係の特色について理解できたか。 ●財政の悪化に対して、幕府がとった改革・政策を考察できたか。  《1学期中間考査》			
		20	第8章 幕藩体制の動揺 3 幕府の衰退と近代への道  第9章 近代国家の成立 1 開国と幕末の動乱  ※時代区分／旧国名の学習	●列強の接近に伴う鎖国政策批判や失政を踏まえ、幕府衰退の過程が理解できたか。 ●条約締結および開港による社会情勢の変化に着目し、政局への影響を考察できたか。  《1学期期末考査》			
	二学期	26	第9章 近代国家の成立 2 明治維新と富国強兵 3 立憲国家の成立と日清戦争  ※時代区分／旧国名の学習	●新政府による近代的な中央集権体制構築への経過を考察し、藩閥政治の成立を理解できたか。 ●明治初期の対外政策について、欧米諸国とアジア諸国への対応の差異を捉えられたか。 ●自由民権運動の拡大が政治・社会に与えた影響を考察できたか。  《2学期中間考査》			
		26	第9章 近代国家の成立 4 日露戦争と国際関係 5 近代産業の発展  第10章 二つの世界大戦とアジア 1 第一次世界大戦と日本  ※時代区分／旧国名の学習	●日露戦争の経緯・経過とそれに伴う日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進を把握できたか。 ●日清日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を捉えられたか。 ●第一次世界大戦前後の政治の動向を、政党内閣の成立や欧米・アジア諸国との関係を踏まえて考察できたか。  《2学期期末考査》			
三学期							
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>●板書をしっかり写すこと</li> <li>●配布されたプリントを保管すること</li> <li>●課題、宿題などにしっかり取り組むこと</li> <li>●欠席、遅刻をしないこと</li> </ul> <p style="text-align: right;">※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する</p>						
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点の趣旨	わが国の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。	日本の歴史から課題を見出し、文化の多様性と現代世界の特質を日本史的視野にたつて多面的・多角的に考察するとともに国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	日本の歴史についての諸資料を収集し、興味ある情報を選択して活用することを通して歴史的な事柄を追求する方法を身につけるとともに、追求し考察し過程や結果を適切に表現する。	日本の歴史についての基本的な事柄を、東アジアやヨーロッパの歴史と比較しながら、どのように展開していくか追求し考え理解されているか判断する。			
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢	●定期テスト ●小テスト ●課題等の提出状況			

教科	公民	科目	現代社会	単位数	2	学年・コース	3年 総合・体育
教科書	実教出版『最新 現代社会新訂版』 浜島書店『最新図説 現社』			担当者	齋藤 翔太・渡部 翔太・金田 浩明		
概要・ねらい	中学社会科で学んできたことをさらに深め、現代社会に関する経済的・政治的・倫理的認識を高めつつ、社会問題を自らの課題として考える力を養うことを目標とする。また、現代社会では心理学や哲学を手がかりに、自分自身について深く考える態度を養うことも目標とする。						
年間授業計画	学期	配 間 当 時	学習内容	評価基準			
	一 学 期	10	2. 現代の民主政治と日本国憲法 第2章 日本国憲法の基本的性格 1. 日本国憲法の成立 6. 新しい人権 2. 日本国憲法の基本的性格 7. 人権保障の広がり 3. 自由に生きる権利 8. 平和主義とわが国の安全 4. 平等に生きる権利 9. こんにちの防衛問題 5. 社会権と参政権・請求権	●日本国憲法の成立背景や原理を理解し、人権保障に考えをめぐらせ、また、日本の防衛上の問題点などの対外的な視点を持つことができたか。  《1学期中間考査》			
		10	第3章 日本の政治機構と政治参加 1. 政治機構と国会 6. 選挙制度 2. 行政権と行政機能の拡大 7. 世論と政治参加 3. 公正な裁判の保障 4. 地方自治と住民福祉 5. 政党政治	●日本の政治機構・政治参加について理解を深めることができたか。 ●選挙制度の変遷や政治参加の方法について学習を深め、自身が選挙権を持つことと関連させながら考えることができていくか。  《1学期期末考査》			
	二 学 期	13	3. 現代の経済社会と国民生活 第1章 現代の経済社会 1. 経済主体と経済活動の意義 9. 日本銀行の役割 2. 経済社会の変容 10. 財政の役割と租税 3. 市場のしくみ 11. 日本の財政の課題 4. 市場の失敗 5. 現代の企業 6. 国民所得 7. 経済の成長と国民の福祉 8. 金融の役割	●経済活動の流れや市場のしくみなどを理解することができたか。 ●現代の企業や国民所得など、身近な問題について、積極的に学習し、理解することができたか。  《2学期中間考査》			
		13	第2章 日本経済の特質と国民生活 1. 戦後復興から高度経済成長へ 9. こんにちの労働問題 2. 安定成長からバブル経済へ 10. 社会保障の役割 3. 日本経済の課題 11. 社会保障制度の課題 4. 日本の中小企業 5. 日本の農業 6. 消費者問題 7. 公害の防止と環境保全 8. 労働問題と労働者の権利	●戦後復興から現代までの人々の生活の変化をつかみ、今日の社会問題に目を向け、理解し、自ら考えることができていくか。 ●労働問題や社会保障制度など、取り上げられることが多い問題について理解しているか。  《2学期期末考査》			
	三 学 期		3学期は授業を行いません。				
履修上の注意							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業は必要に応じて板書したり、プリントなどを利用するので、必ず教科書・ノート・配布プリントなどを用意しておくこと。</li> <li>・新聞・テレビなどのニュースなど、世界の情報・動きに関心を持つこと。 ※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する</li> </ul>							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解			
評価の観点の趣旨	現代社会の諸事情について関心を高め、意欲的に課題を追求したか。	社会の様々な事象を政治的・経済的側面でもとらえ、課題を見出すことができたか。	学習した過程や結果をわかりやすくまとめ、表現することができたか。 資料を読み取り、課題に応じて利用することができたか。	現代社会を様々な角度から認識し、政治・経済・倫理・国際分野に関する知識を理解することができたか。			
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出	●定期テスト ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出	●定期テスト ●課題等の提出	●定期テスト ●課題等の提出			

教科	公民	科目	政経倫理	単位数	3	学年・コース	3年 総合・体育
教科書	『最新図説 現社』浜島書店			担当者	森田 大介・岡田 新平・廣段 和也・坂巻 主税		
概要・ねらい	中学社会科及び現代社会で培った知識をさらに深め、現代社会に関する経済的・政治的認識を高めつつ、社会問題を自らの課題として考える力を養うことを目標とする。また、倫理分野では心理学や哲学を手がかりに、高校生活が自分自身について深く考える態度を養うことも目標とする。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	15	第2部 現代の社会と人間 1 青年期と自己の形成 第1章 自分らしく生きる 第2章 人間として良く生きる	●心理学、哲学的側面から考察し、考える力を養う。また、他国と自国の宗教・思想を比較し、それぞれの事柄について理解する。  《1学期中間考査》			
		15	第3章 日本人としての自覚 2 現代の民主政治と日本国憲法 第1章 現代国家と民主政治	●哲学的側面から日本人としての自覚を養う。また、民主主義がどのようにして生まれ、我々は何のような課題を持ち、政治に参加していくかを理解する。  《1学期期末考査》			
	二学期	18	4 国際社会と人類の課題 第1章 国際政治の動向	●国際社会の中に生きる我々の政治的立場や行うべき事を理解し、今日の国際政治の課題を考える。  《2学期中間考査》			
		18	第2章 国際経済の動向と国際協力	●国際社会の中に生きる我々の立場や行うべき事を経済的な側面から理解し、今日の国際社会の課題を考える。  《2学期期末考査》			
三学期		3学期は授業を行いません。					
履修上の注意							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業は必要に応じて板書したり、プリントなどを利用するので、必ず教科書・ノート・配布プリントなどを用意しておくこと。</li> <li>・新聞・テレビなどのニュースなど、世界の情報・動きに関心を持つこと。</li> </ul> ※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点	現代社会の諸事情について関心を高め、意欲的に課題を追求したか。	社会の様々な事象を政治的・経済的側面にとらえ、課題を見出すことができたか。	学習した過程や結果をわかりやすくまとめ、表現することができたか。	現代社会を様々な角度から認識し、政治・経済・倫理・国際分野に関する知識が身に付いたか。			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●授業への出席状況</li> <li>●授業への取り組む姿勢</li> <li>●課題等の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期テスト</li> <li>●授業への取り組む姿勢</li> <li>●課題等の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期テスト</li> <li>●授業への取り組む姿勢</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期テスト</li> <li>●課題等の提出</li> </ul>			

教科	地理歴史	科目	世界史B	単位数	4	学年・コース	3年 アカデミック文系
教科書	『詳説 世界史B』山川出版社 『最新世界史図説 タペストリー』帝国書院			担当者	坂巻 主税		
概要・ねらい	世界史の大きな流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解させる。また、文化の多様性と現代社会の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会で主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	20	第2章 アジア・アメリカの古代文明 3 中国の古典文明 第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 3 東アジア文化圏の形成 第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開 2 東アジア諸地域の自立化 3 モンゴルの大帝国	●中国の古典文明、古代中国王朝の展開およびそれぞれの時代における支配体制の特徴を理解できたか。 ●ユーラシア大陸にまたがるモンゴル帝国によって、ヨーロッパから東アジアいたる全域で経済・文化の交流が進んだことを理解できたか。  《1学期中間考査》			
		20	第7章 アジア諸地域の繁栄 1 東アジア世界の動向 2 清代の中国と隣接諸地域 第12章 アジア諸地域の動揺	●14世紀～18世紀までのアジア諸地域について中国を中心に、明朝による広域的な朝貢体制、満州人による清朝の支配体制の特徴を理解できたか。 ●17世紀から18世紀以降、アジアが弱体化し、ヨーロッパの植民地化の動きが本格化していった過程を理解できたか。  《1学期期末考査》			
	二学期	26	第13章 帝国主義とアジアの民族運動	●1880年代以降、欧米諸国が植民地を拡大し、既得権益による対立、列強の二極分化していく過程を理解できたか。  《2学期中間考査》			
		26	第15章 冷戦と第三世界の独立	●第二次世界大戦後、アメリカとソ連を中心とする冷戦がはじまり、東西両陣営に分裂したことを理解できるか。 ●朝鮮戦争などを経て、冷戦が激化するとともに西欧諸国や日本が経済復興に向かい、また「雪どけ」の始まりとともに台頭した第三世界によって経済が多極化したことを理解できるか。  《2学期期末考査》			
三学期		3学期は授業を行いません。					
履修上の注意							
●板書をしっかり写すこと ●配布されたプリントを保管すること ●課題、宿題などにしっかり取り組むこと ●欠席、遅刻をしないこと ※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点	世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとするか。	世界の歴史から課題を見出し、文化の多様性と現代世界の特質を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断できるか。	世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的対象を追求する方法を身につけるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現できるか。	世界の歴史についての基本的な事柄を、我が国の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけているか。			
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢	●定期テスト ●小テスト ●課題等の提出状況			

教科	地理歴史	科目	世界史演習	単位数	3	学年・コース	3年 アカデミック文系
教科書	『詳説 世界史B』山川出版社 『最新世界史図説 タベストーリー』帝国書院			担当者	坂巻 主税		
概要・ねらい	主にイスラーム世界の歴史を学ぶ。また、第二次世界大戦後の再編について注目し、戦後の世界の変容と発展について理解する。 世界史Bの授業と連動しながら授業を展開する。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	15	第4章 イスラーム世界の形成と発展 1 イスラーム世界の形成 2 イスラーム世界の発展 3 インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化 4 イスラーム文明の発展	●イスラーム世界の形成と発展にかかわる背景やその特質を理解し、その後のアラブ人によるイスラーム世界の拡大や帝国の形成や発展を理解できたか。 ●イスラーム世界の発展とともに形成してきた独自の文化を当時の社会背景とともに理解できたか。  《1学期中間考査》			
		15	第7章 アジア諸地域の繁栄 3 トルコ・イラン世界の展開 4 ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展	●トルコ・イラン地域に現れたイスラーム帝国の発展と衰退やその特質を理解できたか。  《1学期期末考査》			
	二学期	18	第14章 二つの世界大戦	●総力戦としての二つの世界大戦、ロシア革命とソヴィエト連邦の成立、大衆社会の出現とファシズム、アジア・アフリカの民族運動などを理解し、20世紀前半の世界の動向と社会の特質について考察させる。  《2学期中間考査》			
		18	第16章 現代の世界	●東欧諸国の社会主義の変容やソ連消滅、民族紛争を理解するとともに、グローバル化の発展を理解できるか。 ●途上国の民主化やアジア地域の社会主義国家の変容を理解できるか。 ●世界各国の紛争やテロなどや紛争解決や軍縮の試みを理解できたか。 ●現代の情報技術や科学技術の発展やそれらが抱える課題について理解できたか。  《2学期期末考査》			
二学期		3学期は授業を行いません。					
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>●板書をしっかり写すこと</li> <li>●配布されたプリントを保管すること</li> <li>●課題、宿題などにしっかり取り組むこと</li> <li>●欠席、遅刻をしないこと</li> </ul> <p style="text-align: right;">※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する</p>						
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点	世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとするか。	世界の歴史から課題を見出し、文化の多様性と現代世界の特質を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断できるか。	世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追求する方法を身につけるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現できるか。	世界の歴史についての基本的な事柄を、我が国の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけているか。			
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢	●定期テスト ●小テスト ●課題等の提出状況			

教科	地理歴史	科目	日本史B	単位数	4	学年・コース	3年 アカデミック文系
教科書	山川出版社『詳説 改訂版 日本史B』			担当者	花本 隆		
概要・ねらい	わが国の歴史の始まりと展開を世界史的視野にたち総合的に考えさせ、わが国の文化と伝統の特色についての認識を考え深めることにより歴史的な考えを養い、国際社会に生きる日本人としての資質を養い表現できることを育成する。						
年間授業計画	学期	配 当 時 間	学習内容	評価基準			
	一 学 期	16	第6章 幕藩体制の確立 3 幕藩体制の成立 4 幕藩社会の構造	●織豊政権が中世末期の戦国争乱を収束して、近世の出発点に立ったことを受けて、徳川氏がいわゆる幕藩体制を固めていったことを理解しているか。 ●幕府の組織も整備され、藩制も成立し、対外的には「鎖国」の体制が完成するに至ったことを考察できたか。 《第1学期中間考査》			
		26	第7章 幕藩体制の展開 1 幕政の安定 2 経済の発展	●寛永期を画期として幕政はいわゆる平和と秩序を展開し、町人の経済的・文化的活動がきわめて活発となり、元禄文化を開花させたことを考察できたか。 《第1学期期末考査》※マークシート対応のテストとなります。			
	二 学 期	23	第8章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 2 宝暦・天明期の文化	●18世紀から19世紀にかけて、商人の台頭はめざましく、農村の本百姓体制は崩れて幕藩体制の動揺が顕著4になったことが理解できたか。 三大改革の享保の改革の内容を理解できたか。 《第2学期中間考査》			
21		第8章 幕藩体制の動揺 3 幕府の衰退と近代への道 4 家政文化	●幕府はいわゆる享保・寛政・天保の三大改革を実施したが、一揆・打ちこわしも起こって事態は深刻となったことを考察できたか。 ●19世紀になると、内憂外患は頂点に達して幕威は低下がめだち、その中で政治・社会・文化の様々の分野で近代への胎動が強まっていったことが考察できたか。 《第2学期期末考査》※マークシート対応のテストとなります。				
三 学 期		3学期は授業を行いません。					
履修上の注意							
授業は板書したり、プリント等を利用するので、必ずノート等を用意してください。また、課題等の提出に関しては評価にも影響しますので、必ず提出するようにしてください。							
評価の観点の趣旨と評価方法				※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する			
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点の趣旨	わが国の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。	日本の歴史から課題を見だし、文化の多様性と現代世界の特質を日本史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	日本の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追求する方法を身に付けるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現する。	日本の歴史についての基本的な事柄を、東アジア・ヨーロッパの歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。			
評価方法	授業への出席状況 授業への取り組む姿勢 課題等の提出状況	定期テスト 授業への取り組む姿勢 課題等の提出	定期テスト 授業への取り組む姿勢	定期テスト 小テスト 課題等の提出			

教科	地理歴史	科目	日本史演習	単位数	3	学年・コース	3年 アカデミック文系
教科書	『詳説 日本史B』山川出版 『新詳 日本史図説』浜島書店			担当者	成澤 可奈子		
概要・ねらい	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察し、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	15	第9章 近代国家の成立 1 開国と幕末の動乱 2 明治維新と富国強兵 3 立憲国家の成立と日清戦争 4 日露戦争と国際関係	●新政府の制度改革に着目して、明治政府が中央集権体制を構築していく過程を考察できたか。 ●明治初期の対外政策について、欧米諸国とアジア諸国への対応の差異を捉えられたか。 ●自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察できたか。 ●日露戦争の経緯・経過とそれに伴う日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進を把握できたか。 《1学期中間考査》			
		15	第9章 近代国家の成立 5 近代産業の発展 6 近代文化の発達 第10章 二つの世界大戦とアジア 1 第一次世界大戦と日本 2 ワシントン体制	●日清日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を捉えられたか。 ●国民が主体的に創造した近代文化の特色を考察できたか。 ●第一次世界大戦前後の政治の動向を、政党内閣の成立や欧米・アジア諸国との関係を踏まえて考察できたか。 ●ワシントン体制に至る過程を、国際環境の変化の中で日本の立場に着目しながら捉えられたか。 《1学期期末考査》			
	二学期	18	第10章 二つの世界大戦とアジア 3 市民生活の変容と大衆文化 4 恐慌の時代 5 軍部の台頭 6 第二次世界大戦	●大衆文化の成立を、その背景となる社会風潮に着目しながら考察できたか。 ●戦後恐慌から昭和恐慌に至る過程を、国内外の経済状況を踏まえて理解できたか。 ●対外政策および国際社会での立場の変化を踏まえ、日本が戦争に突入していった経緯を考察することができたか。 《2学期中間考査》			
		18	第11章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講話 第12章 高度成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度成長へ	●第二次世界大戦終結以降の日本の動向を把握できたか。 ●戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化について理解することができたか。 《2学期期末考査》			
三学期			3学期は授業を行いません。				
履修上の注意							
●板書をしっかり写すこと ●配布されたプリントを保管すること ●課題、宿題などにしっかり取り組むこと ●欠席、遅刻をしないこと ※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点の趣旨	わが国の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。	日本の歴史から課題を見出し、文化の多様性と現代世界の特質を日本史的視野にたつて多面的・多角的に考察するとともに国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	日本の歴史についての諸資料を収集し、興味ある情報を選択して活用することを通して歴史的な事柄を追求する方法を身につけるとともに、追求し考察し過程や結果を適切に表現する。	日本の歴史についての基本的な事柄を、東アジアやヨーロッパの歴史と比較しながら、どのように展開していくか追求し考え理解されているか判断する。			
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢	●定期テスト ●小テスト ●課題等の提出状況			

教科	公民	科目	現代社会	単位数	2	学年・コース	3年 アカデミック
教科書	実教出版『最新 現代社会新訂版』 浜島書店『最新図説 現社』			担当者	萬田 依子		
概要・ねらい	中学社会科で学んできたことをさらに深め、現代社会に関する経済的・政治的・倫理的認識を高めつつ、社会問題を自らの課題として考える力を養うことを目標とする。また、現代社会では心理学や哲学を手がかりに、自分自身について深く考える態度を養うことも目標とする。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	10	第2部 現代の社会と人間 <2> 現代の民主政治と日本国憲法 第3章 日本の政治機構と政治参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現代政治への関心が高まり、主権者意識が身に付いているか。</li> <li>●政治について考察し、政治の在り方を公正に判断し、その結果を適切に表現しているか。</li> </ul> <<1学期中間考査>>			
		10	第2部 現代の社会と人間 <3> 現代の経済社会と国民生活 第2章 日本経済の特質と国民生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現代の日本経済の動向や雇用・労働、環境、社会保障に対する関心高め、経済社会の一員としての意識が身に付いているか。</li> <li>●消費者、労働、社会保障などについて多角的・多面的に考察し、様々な立場に立って公正に判断して、その過程や結果を適切に表現しているか。</li> </ul> <<1学期期末考査>>			
	二学期	13	第2部 現代の社会と人間 <4> 国際社会と人類の課題 第1章 国際政治の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国際政治への関心が高まっているか。</li> <li>●国際政治の課題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現しているか。</li> </ul> <<2学期中間考査>>			
		13	第2部 現代の社会と人間 <4> 国際社会と人類の課題 第2章 国際経済の動向と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国際政治の時事的事象の情報を適切に選択し、活用しているか。</li> <li>●国際政治を理解し、その知識を身に付けているか。</li> </ul> <<2学期期末考査>>			
三学期			3学期は授業を行いません。				
履修上の注意							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業は必要に応じて板書したり、プリントなどを利用するので、必ず教科書・ノート・配布プリントなどを用意しておくこと。</li> <li>・新聞・テレビなどのニュースなど、世界の情報・動きに関心を持つこと。</li> </ul> ※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解			
評価の観点の趣旨	現代社会の諸事情について関心高め、意欲的に課題を追求したか	社会の様々な事象を政治的・経済的側面とらえ、課題を見出すことができたか	学習した過程や結果をわかりやすくまとめ、表現することができたか 資料を読み取り、課題に応じて利用することができたか	現代社会を様々な角度から認識し、政治・経済・倫理・国際分野に関する知識を理解することができたか			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●授業への出席状況</li> <li>●授業への取り組む姿勢</li> <li>●課題等の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期テスト</li> <li>●授業への取り組む姿勢</li> <li>●課題等の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期テスト</li> <li>●課題等の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期テスト</li> <li>●課題等の提出</li> </ul>			

教科	公民	科目	政経倫理	単位数	4	学年・コース	3年 アカデミック文系
教科書	実教出版『最新 現代社会新訂版』・浜島書店『最新図説 現社』			担当者	渡部 翔太		
概要・ねらい	中学社会科で学んできたことをさらに深め、現代社会に関する経済的・政治的・倫理的認識を高めつつ、社会問題を自らの課題として考える力を養うことを目標とする。また、現代社会では心理学や哲学を手がかりに、自分自身について深く考える態度を養うことも目標とする。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	20	第1部 私たちの生きる社会 第1章 地球環境問題 第2章 資源・エネルギー問題 第3章 生命科学と情報技術の課題	●地球環境問題や資源エネルギー問題に対する関心を高め、その現状などについて意欲的に追究しようとしているか。 ●生命科学と情報技術の課題に関心をもち、自らとの関わり方について意欲的に追究しようとしているか。  《1学期中間考査》			
		20	第2部 現代の社会と人間 ＜1＞ 青年期の自己の形成 第1章 自分らしく生きる 第2章 人間としてよく生きる 第3章 日本人としての自覚	●自己形成の課題を意欲的に追究し、自己の生き方について考察しようとしているか。 ●メディアを通してさまざまな資料を収集し、効果的に活用しているか。  《1学期期末考査》			
	二学期	26	第2部 現代の社会と人間 ＜2＞ 現代の民主政治と日本国憲法 第1章 現代国家と民主政治 第2章 日本国憲法の基本的性格	●民主政治の本質や現代政治の特質を意欲的に追究しようとしているか。 ●国民主権を原理とする民主政治の本質や現代政治の様々な特質について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で表現しているか。 ●現代政治の特質に関する情報を収集し、適切に活用できるか。 ●民主政治の基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けているか。  《2学期中間考査》			
		26	第2部 現代の社会と人間 ＜3＞ 現代の経済社会と国民生活 第1章 現代の経済社会	●現代の経済社会への基本的問題について関心を高め、意欲的に課題を追究しているか。 ●経済活動に対する責任など、現代の経済社会の諸課題を多面的・多角的に考察し、公正に判断して、適切に表現しているか。  《2学期期末考査》			
三学期		3学期は授業を行いません。					
履修上の注意							
・授業は必要に応じて板書したり、プリントなどを利用するので、必ず教科書・ノート・配布プリントなどを用意しておくこと。 ・新聞・テレビなどのニュースなど、世界の情報・動きに関心を持つこと。							
※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解			
評価の観点の趣旨	現代社会の諸事情について関心を高め、意欲的に課題を追求したか	社会の様々な事象を政治的・経済的側面でもとらえ、課題を見出すことができたか	学習した過程や結果をわかりやすくまとめ、表現することができたか 資料を読み取り、課題に応じて利用することができたか	現代社会を様々な角度から認識し、政治・経済・倫理・国際分野に関する知識を理解することができたか			
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出	●定期テスト ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出	●定期テスト ●課題等の提出	●定期テスト ●課題等の提出			